

会報

編輯後記

一、三十五年度総会を山一証券の御好意で、同大分支店二階会議室で

七月三日に行つたが、田北学、渡辺澄夫両氏の大友初代能直の出

自に就ての論争は近來ない熱の入つたよい発表であつた。其他多数

の発表者何れも真面目な研究成果であつたのと、会場が冷房装置で

あつたので暑さ知らずに盛會裡に終ることが出来た。

二、総会で會員名簿を紙上発表せよとのことであつたが、紙数超過で

次号に廻した。悪しからずお赦下さい。

三、会費未納の方は至急納入下さい。切にお願い致します。

四、会の維持発表は會員の増加にあることは今更申し上げるまでもあ

りませんが、各員各位の増加に就ての御尽力を願います。

雑報

目下毎日新聞連載中の「大分県の歴史と文化」に就ての感想や新史料御気づきの点をお知らせ下さい。

一、今回は各原稿とも紙数が多かつたので、予定の紙数を超過し、止むなく割愛し次号に廻しました。

二、會員の近作者書、各地支部の活動状況のお知らせも同前。

三、出来るだけかわつた會員の広範囲な発表をお願いします。早目に御寄稿下さい。

四、編者他行事も同時となつたので、充分の校正が出来ず、誤植、脱字其他の多いことをお詫びする。
(立川記)

昭和三十五年九月二十三日印刷
昭和三十五年九月二十五日発行

会費 年三〇〇円
本号に限り貳百円

編輯兼 代表者 渡 辺 澄 夫
発行人 高 井 久 雄
印刷人

大分市上野 電話三七七五番
印刷所 三 恵 印刷株式会社

大分市駄原 大分大学
学芸学部國史研究室内

発行所

大分県地方史研究会
(振替下関五二九四番)